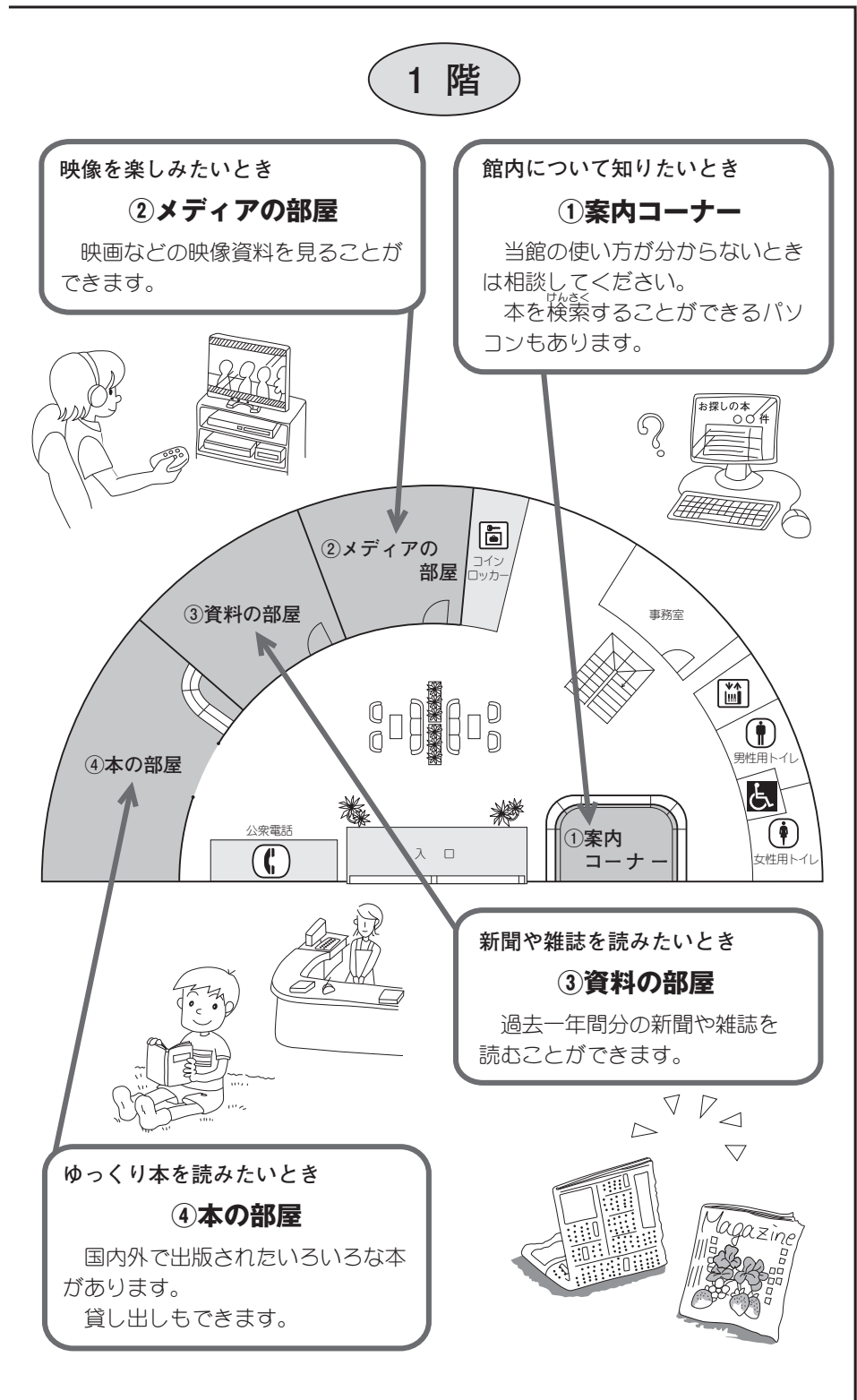


1

図書委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の「子ども図書館」を見ながら、あとの問いに答えなさい。

【子ども図書館 案内図】



2 階

体験しながら本に親しみたいとき

⑥体験の部屋

本のしおりを作ったり、簡単な本立てを作ったりする体験ができます。



めずらしい絵本に出会いたいとき

⑤展示の部屋

世界各国の貴重な絵本が展示されています。
貸し出しはできません。



⑥体験の部屋

⑤展示の部屋

⑦お話の部屋

⑧学習の部屋

事務室

吹き抜け



読み聞かせを聞きたいとき

⑦お話の部屋

小学生以下の子どもを対象にした読み聞かせと、中学生を対象にした読み聞かせを週末に行っています。

勉強したいとき

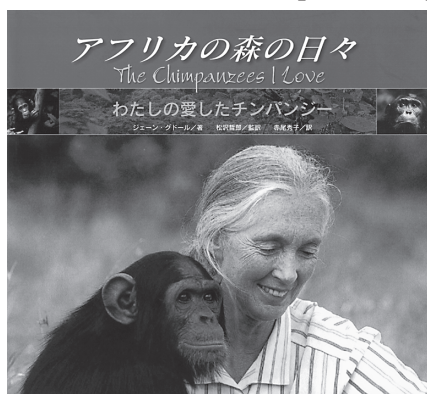
⑧学習の部屋

勉強用の机が並んでいます。
机を使いたいときには手続きをしてください。



一 次は、先生から紹介された【本の表紙】と、その本についての【山田さんのメモ】です。

【本の表紙】



【山田さんのメモ】

書名: アフリカの森の日々
ーわたしの愛したチンパンジーー
著者: ジェーン・グドール
出版された年: 平成14年

ア この本を借りるには、山田さんはどこへ行くのが適切ですか。その場所の番号を【子ども図書館 案内図】の①から⑧までの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

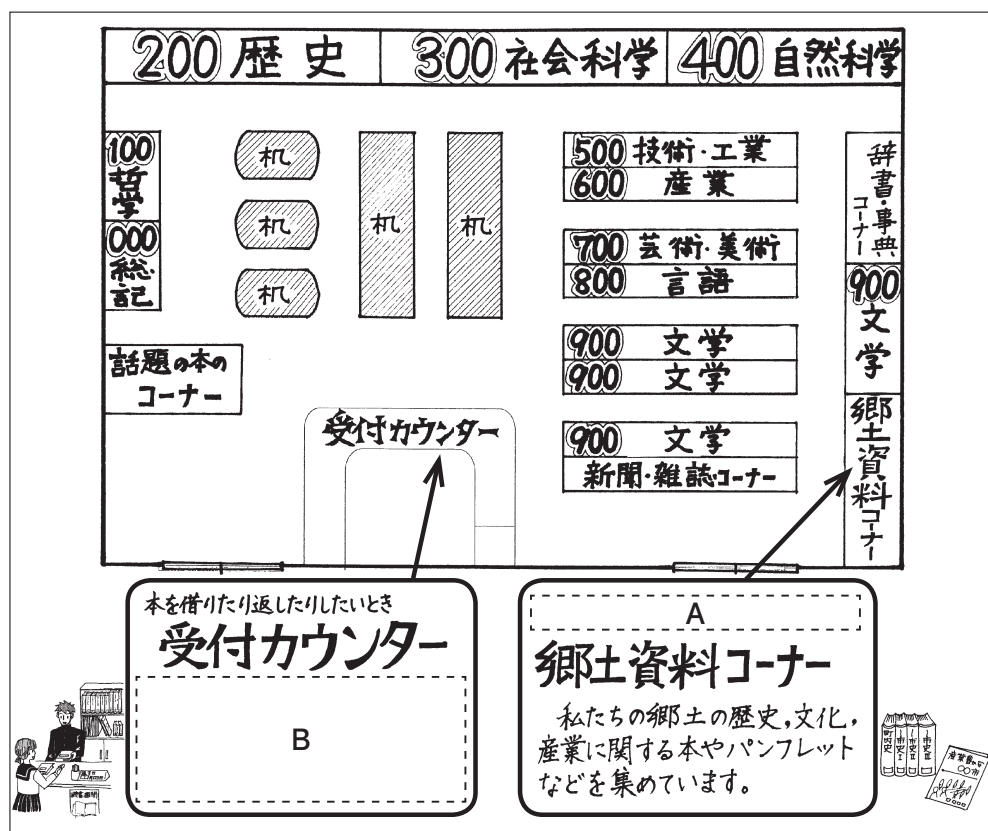
イ なぜあなたはアで選んだ場所へ行くのが適切だと考えたのですか。その理由を説明しなさい。

二 山田さんは【子ども図書館 案内図】を見て、「場所ごとに枠囲みで情報が示されていて分かりやすいな」と思いました。場所ごとに枠囲みで情報が示されていること以外の工夫として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 それぞれの枠囲みの近くにイラストが添えてある。
- 2 利用者の立場で「くとき」と使う場面が書いてある。
- 3 説明が敬体（です・ます体）で簡潔に書いてある。
- 4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示してある。

三 学校に戻った山田さんは、【子ども図書館 案内図】の工夫を学校図書館の案内図にも生かそうと考えました。

【学校図書館 案内図】



ア 郷土資料コーナーの「A」には、どのような見出しを書くのが適切ですか。【子ども図書館 案内図】の工夫を取り入れて書きなさい。

イ 受付カウンターの「B」には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 次の《受付カウンターの役割》をもとに書くこと。

《受付カウンターの役割》

- ・ 本を借りるための手続きができる。
- ・ 本を返すための手続きができる。
- ・ パソコンで学校図書館の本を探すことができる。

条件2 「貸し出し」、「返却」、「検索」という言葉をすべて使うこと。